



2020年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニイタカ

コード番号 4465 URL <https://www.niitaka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥山 吉昭

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員(総務部担当) (氏名) 佐古 晴彦

TEL 06 (6391) 3266

定時株主総会開催予定日 2020年9月24日 配当支払開始予定日 2020年8月14日

有価証券報告書提出予定日 2020年8月28日

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期の連結業績（2019年6月1日～2020年5月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期	17,723	1.3	1,617	39.3	1,571	30.3	1,058	28.6
2019年5月期	17,490	4.6	1,161	7.1	1,206	9.1	822	4.7

(注) 包括利益 2020年5月期 1,005百万円 (39.1%) 2019年5月期 723百万円 (△16.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年5月期	179.32	—	10.4	9.0	9.1
2019年5月期	139.39	—	8.7	7.2	6.6

(参考) 持分法投資損益 2020年5月期 -百万円 2019年5月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期	17,777	10,559	59.4	1,788.74
2019年5月期	17,099	9,707	56.8	1,644.36

(参考) 自己資本 2020年5月期 10,559百万円 2019年5月期 9,707百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年5月期	1,701	△934	△464	2,294
2019年5月期	1,204	△1,553	459	2,025

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年5月期	—	13.00	—	13.00	26.00	153	18.7	1.6
2020年5月期	—	13.00	—	13.00	26.00	153	14.5	1.5
2021年5月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00		17.1	

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	△1.3	1,300	△19.6	1,330	△15.4	900	△15.0	152.45

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）新高（江蘇）日用品有限公司、除外 1社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期	5,943,052株	2019年5月期	5,943,052株
② 期末自己株式数	2020年5月期	39,486株	2019年5月期	39,426株
③ 期中平均株式数	2020年5月期	5,903,610株	2019年5月期	5,903,655株

(参考) 個別業績の概要

2020年5月期の個別業績（2019年6月1日～2020年5月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期	16,525	1.5	1,373	53.7	1,329	4.7	902	△9.3
2019年5月期	16,279	3.1	893	1.2	1,269	38.9	994	58.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期	152.80	—
2019年5月期	168.41	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2020年5月期	16,948	10,139	10,139	9,385	59.8	1,717.54	1,589.84	
2019年5月期	16,317	9,385	9,385	9,385	57.5	1,589.84	1,589.84	

(参考) 自己資本 2020年5月期 10,139百万円 2019年5月期 9,385百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善に伴い緩やかな回復基調にありましたが、米中貿易摩擦の深刻化に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって経済活動の急速な停滞が生じ、先行きは極めて厳しい状況が続くと見込まれております。

このような環境下、フードビジネス業界の多様化するニーズに対応し、洗浄力に優れコストパフォーマンスのよい食器洗浄機用洗浄剤や感染症予防に貢献できる除菌用アルコール製剤等の販売、衛生サービス等の提供に努めてまいりました。

これらの活動の成果に加え、新型コロナウイルス感染症の影響で1月末からアルコール製剤の売上が大きく伸長したことにより、感染拡大による国内外の経済活動減速に起因するマイナス影響をある程度相殺することができました。

これにより、当連結会計年度の売上高は、177億2千3百万円（前期比 1.3%増）となりました。

利益につきましては、売上増加に加え、原材料費率が低下したことや様々なコスト削減施策が順調に進んだこと等により、営業利益は、16億1千7百万円（同39.3%増）、経常利益は、15億7千1百万円（同 30.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、10億5千8百万円（同 28.6%増）となりました。

当社グループは、業務用の化成品事業を行っており、単一セグメントであるため、セグメント別の情報はありません。当社グループ製造品および仕入商品等の売上高は、次のとおりであります。

<当社グループ製造品>（業務用洗剤・洗浄剤・除菌剤・漂白剤・固形燃料等）

新型コロナウイルス感染症の影響により感染予防に役立つ製品への需要が急速に高まり、除菌・消毒用アルコール製剤の売上が増加しました。一方で、緊急事態宣言の発令を受けて飲食業界やホテル業界の休業等の影響を受けた結果、除菌・消毒用アルコール製剤以外の洗剤洗浄剤や固形燃料等の売上が減少しました。なお、中国子会社においては年明けより同感染症によって工場の操業や営業活動の休止を余儀なくされましたが、通期では当社グループの売上高伸長に一定の貢献を果たしました。

その結果、当連結会計年度の当社グループ製造品売上高は、139億1千5百万円（前期比 2.8%増）となりました。

<仕入商品等>

当連結会計年度の売上高は、38億7百万円（同 3.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

	前期	当期	増減
総資産（百万円）	17,099	17,777	677
純資産（百万円）	9,707	10,559	852
自己資本比率	56.8%	59.4%	2.6p
1株当たり純資産（円）	1,644.36	1,788.74	144.38

前連結会計年度末と比較して総資産は6億7千7百万円増加し、純資産は8億5千2百万円増加しました。この結果、自己資本比率は2.6ポイント増加し59.4%となりました。増減の主なもの次のとおりであります。

流動資産では、現金及び預金が2億6千8百万円、電子記録債権が2億5千3百万円、商品及び製品が2億2千万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が1億5千3百万円減少しております。

固定資産では、建物及び構築物が5億2千6百万円、機械装置及び運搬具が3億3千万円それぞれ増加し、建設仮勘定が7億5千6百万円減少しております。

流動負債では、未払法人税等が2億5千8百万円増加し、支払手形及び買掛金が1億7千4百万円減少しております。

固定負債では、長期借入金が2億9千5百万円減少しております。

(3)当期のキャッシュ・フローの概況

(百万円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,204	1,701	496
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,553	△934	618
財務活動によるキャッシュ・フロー	459	△464	△924
現金及び現金同等物の増減	101	268	166
現金及び現金同等物の期末残高	2,025	2,294	268

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、資金といいます。）の期末残高は、前年同期より2億6千8百万円増加し、22億9千4百万円となりました。主な内訳は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、17億1百万円（前期比41.2%増）となりました。主には税金等調整前当期純利益が15億8千2百万円、減価償却費が5億8千2百万円あった一方で、たな卸資産の増加額が2億6千7百万円、法人税等の支払額が2億8千4百万円あったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、9億3千4百万円（前期比39.8%減）となりました。主には有形固定資産の取得による支出が7億7千1百万円、無形固定資産の取得による支出が3億6千9百万円あった一方で、保険積立金の解約による収入が2億4千1百万円あったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、4億6千4百万円（前期は4億5千9百万円の収入）となりました。主には長期借入金の返済による支出が2億9千5百万円、配当金の支払額が1億5千3百万円あったことなどによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年5月期	2017年5月期	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期
自己資本比率 (%)	56.0	56.1	56.4	56.8	59.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	57.1	67.7	65.2	49.3	121.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.3	1.0	1.6	1.8	1.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	86.6	166.6	106.8	126.3	177.8

1. 自己資本比率：自己資本/総資産
2. 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産
3. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー
4. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により計算しております。
2. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大や米中貿易摩擦の長期化などの影響があり、日本経済の動向は予断を許さない状況が予想されます。

このような状況下、当社は中期経営計画「N I P Q 6 0」に掲げた方針に沿って、各施策を着実に遂行することを基本としつつ、新型コロナウイルス感染症への対応および感染終息後に予想される外部環境変化に対応した経営戦略の更新を適宜行ってまいります。

次期の業績見通しにつきましては、当社製品の主な市場である飲食業や宿泊施設の稼働において新型コロナウイルス感染症の影響が第3四半期までは続くものの、その後概ね回復するとの前提を置いております。また、新型コロナウイルス感染症の拡大につれて急増したアルコール製剤の受注は、ピーク時よりは減少するものの感染症拡大前に戻ることはなく一定の伸びを維持する前提で考えております。以上の前提にしたがって検討した結果、売上高175億円（前期比 1.3%減）と予想しております。

利益に関しましては、上記の売上高予想をもとに、営業利益13億円（同 19.6%減）、経常利益13億3千万円（同 15.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益9億円（同 15.0%減）と予想しております。

したがって、今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況や終息時期によっては、予想の前提と異なった状況が生まれ、当社グループの業績に予想を超えた影響を及ぼす可能性があります。今後、次期の業績見通しに関し開示すべき重要な事象等が生じた場合には速やかに公表いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は利益配分につきましては、将来の企業価値を高める事業戦略に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

内部留保金は、業容拡大に向けた技術開発、製品開発、設備投資や人材育成ならびに手元資金の流動性確保に活用したいと考えております。

当期の配当金につきましては、期末は1株当たり13円とし、通期で1株当たり26円を予定しております。

また、次期配当金につきましては、中間配当金13円、期末配当金13円とし、年間配当金26円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在日本国内での活動が主であることから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、国内他社の I F R S 採用動向を踏まえつつ、I F R S 適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当連結会計年度 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,025,814	2,294,148
受取手形及び売掛金	3,072,870	2,918,927
電子記録債権	766,893	1,020,815
商品及び製品	775,718	996,013
仕掛品	40,742	30,308
原材料及び貯蔵品	447,219	496,311
その他	177,231	155,528
貸倒引当金	△1,365	△4,325
流動資産合計	7,305,126	7,907,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,309,848	8,054,877
減価償却累計額	△4,300,173	△4,519,159
建物及び構築物(純額)	3,009,674	3,535,718
機械装置及び運搬具	6,536,697	6,743,624
減価償却累計額	△5,806,320	△5,683,123
機械装置及び運搬具(純額)	730,376	1,060,500
工具、器具及び備品	782,193	804,045
減価償却累計額	△639,843	△622,972
工具、器具及び備品(純額)	142,349	181,072
土地	3,136,945	3,136,945
リース資産	210,749	193,178
減価償却累計額	△152,784	△151,739
リース資産(純額)	57,964	41,439
建設仮勘定	773,685	17,042
その他	6,026	6,026
有形固定資産合計	7,857,022	7,978,746
無形固定資産		
のれん	4,555	2,277
ソフトウェア	336,291	362,093
ソフトウェア仮勘定	4,074	8,685
その他	62,485	279,437
無形固定資産合計	407,407	652,493
投資その他の資産		
投資有価証券	562,774	542,032
繰延税金資産	518,420	530,679
その他	474,139	265,286
貸倒引当金	△25,168	△99,413
投資その他の資産合計	1,530,166	1,238,585
固定資産合計	9,794,596	9,869,825
資産合計	17,099,722	17,777,553

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当連結会計年度 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	915,428	741,243
電子記録債務	1,654,495	1,678,032
1年内返済予定の長期借入金	299,517	299,008
リース債務	15,269	43,531
未払金	412,007	292,970
未払法人税等	132,007	390,994
その他	540,543	643,227
流動負債合計	3,969,269	4,089,009
固定負債		
長期借入金	1,787,692	1,491,930
リース債務	58,785	16,072
退職給付に係る負債	1,296,264	1,338,473
繰延税金負債	25,112	25,078
その他	254,934	257,054
固定負債合計	3,422,788	3,128,608
負債合計	7,392,058	7,217,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,199	585,199
資本剰余金	595,337	595,337
利益剰余金	8,564,395	9,469,521
自己株式	△50,820	△50,953
株主資本合計	9,694,111	10,599,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,040	34,366
為替換算調整勘定	△15,488	△73,535
その他の包括利益累計額合計	13,552	△39,168
純資産合計	9,707,664	10,559,936
負債純資産合計	17,099,722	17,777,553

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
売上高	17,490,806	17,723,180
売上原価	10,421,402	10,214,057
売上総利益	7,069,404	7,509,122
販売費及び一般管理費	5,908,030	5,891,303
営業利益	1,161,374	1,617,818
営業外収益		
受取利息	8,692	9,771
受取配当金	8,704	8,907
受取賃貸料	26,895	39,162
売電収入	9,157	8,621
為替差益	34,768	2,583
その他	15,438	11,322
営業外収益合計	103,657	80,369
営業外費用		
支払利息	9,509	9,685
創立55周年関連費用	25,535	-
賃貸収入原価	14,191	21,600
売電原価	5,406	5,849
貸倒引当金繰入額	-	85,625
その他	3,766	3,609
営業外費用合計	58,409	126,371
経常利益	1,206,621	1,571,816
特別利益		
受取保険料	6,133	2,224
保険解約返戻金	-	50,509
特別利益合計	6,133	52,734
特別損失		
固定資産除売却損	904	2,344
投資有価証券評価損	-	29,968
子会社株式評価損	-	10,000
特別損失合計	904	42,312
税金等調整前当期純利益	1,211,850	1,582,237
法人税、住民税及び事業税	374,897	538,304
法人税等調整額	14,065	△14,686
法人税等合計	388,962	523,618
当期純利益	822,887	1,058,619
親会社株主に帰属する当期純利益	822,887	1,058,619

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
当期純利益	822,887	1,058,619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,584	5,325
為替換算調整勘定	△57,277	△58,046
その他の包括利益合計	△99,862	△52,721
包括利益	723,024	1,005,898
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	723,024	1,005,898
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2018年6月1日 至2019年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	585,199	595,337	7,895,003	△50,755	9,024,784
当期変動額					
剰余金の配当			△153,495		△153,495
親会社株主に帰属する当期純利益			822,887		822,887
自己株式の取得				△64	△64
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	669,391	△64	669,327
当期末残高	585,199	595,337	8,564,395	△50,820	9,694,111

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	71,625	41,789	113,415	9,138,199
当期変動額				
剰余金の配当				△153,495
親会社株主に帰属する当期純利益				822,887
自己株式の取得				△64
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△42,584	△57,277	△99,862	△99,862
当期変動額合計	△42,584	△57,277	△99,862	569,464
当期末残高	29,040	△15,488	13,552	9,707,664

当連結会計年度(自2019年6月1日 至2020年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	585,199	595,337	8,564,395	△50,820	9,694,111
当期変動額					
剰余金の配当			△153,494		△153,494
親会社株主に帰属する当期純利益			1,058,619		1,058,619
自己株式の取得				△132	△132
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	905,125	△132	904,993
当期末残高	585,199	595,337	9,469,521	△50,953	10,599,104

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	29,040	△15,488	13,552	9,707,664
当期変動額				
剰余金の配当				△153,494
親会社株主に帰属する当期純利益				1,058,619
自己株式の取得				△132
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	5,325	△58,046	△52,721	△52,721
当期変動額合計	5,325	△58,046	△52,721	852,272
当期末残高	34,366	△73,535	△39,168	10,559,936

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,211,850	1,582,237
減価償却費	513,534	582,583
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	48,106	42,209
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,822	77,205
長期前払費用の増減額(△は増加)	△13,564	10,094
受取利息及び受取配当金	△17,397	△18,679
支払利息	9,509	9,685
固定資産除売却損益(△は益)	904	2,344
為替差損益(△は益)	△0	△3
投資有価証券評価損益(△は益)	—	29,968
保険解約損益(△は益)	—	△50,509
売上債権の増減額(△は増加)	△81,624	△109,910
たな卸資産の増減額(△は増加)	△54,335	△267,099
その他の流動資産の増減額(△は増加)	42,925	86,336
仕入債務の増減額(△は減少)	26,254	△141,228
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△6,844	3,805
未払消費税等の増減額(△は減少)	△44,068	92,492
その他	△8,892	46,946
小計	1,636,178	1,978,478
利息及び配当金の受取額	15,264	16,900
利息の支払額	△9,538	△9,566
法人税等の支払額	△437,061	△284,624
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,204,843	1,701,188
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,311,120	△771,393
無形固定資産の取得による支出	△125,689	△369,625
投資有価証券の取得による支出	△1,087	△1,672
子会社株式の取得による支出	—	△21,978
保険積立金の積立による支出	△9,249	—
保険積立金の解約による収入	—	241,367
貸付けによる支出	△114,160	△36,210
貸付金の回収による収入	14,880	43,390
その他	△6,711	△18,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,553,137	△934,582
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△650,000	—
長期借入れによる収入	1,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△220,815	△295,363
配当金の支払額	△153,495	△153,494
リース債務の返済による支出	△15,933	△15,403
その他	△64	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	459,690	△464,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,585	△33,878
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	101,811	268,333
現金及び現金同等物の期首残高	1,924,003	2,025,814
現金及び現金同等物の期末残高	2,025,814	2,294,148

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示していた「貸倒引当金の増減額(△は減少)」及び「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示していた「貸付金の回収による収入」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた930千円は、「貸倒引当金の増減額(△は減少)」9,822千円、「その他」△8,892千円として、また、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた8,168千円は、「貸付金の回収による収入」14,880千円、「その他」△6,711千円として、それぞれ組み替えております。

また、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「固定資産除売却損益(△は益)」につきましては、前連結会計年度において「有形固定資産除売却損益(△は益)」として表示しておりましたが、当連結会計年度より表記を変更しております。

(セグメント情報)

当社グループは、業務用の化成品事業を行っており、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)		当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	
1株当たり純資産額	1,644.36円	1株当たり純資産額	1,788.74円
1株当たり当期純利益金額	139.39円	1株当たり当期純利益金額	179.32円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	822,887	1,058,619
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	822,887	1,058,619
期中平均株式数(株)	5,903,655	5,903,610

(重要な後発事象)

該当事項はありません。